

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

部局名	総 務 部	部局長名	今吉 俊郎
-----	-------	------	-------

部局内の 経営資源	当初予算	4 3 . 7 億円		
	構成人員 (会計課、選挙管理 委員会事務局、監査 事務局を含む)	職員	嘱託	計
		1 1 6 人	3 1 人	1 4 7 人

①部局の使命 (組織の存在価値)	(1) ゴールド集落再生活動支援、環境・エネルギー対策の推進、シティセールスの推進、地域産業の振興など、薩摩川内市の課題に挑戦する意欲と能力を持つとともに、市民から信頼される職員を育成し、効率的、効果的な行政サービスを実現する。 (2) コスト意識を重視した事務事業の峻別、限られた財政資源の効果的・効率的な配分等の継続的取組みにより、自立性が高く持続可能な行財政基盤を確立する。 (3) 課税客体の的確な把握に努め、公正・公平な課税を推進する。 (4) 公文書の適正管理と積極的な情報公開を推進し、開かれた市政を目指すとともに、条例・規則等の制定改廃に係る審査、指導等を行い、公平かつ適正な市政の執行に資すること。 (5) 公金の安全かつ効率的な運用及び保全 (6) 法令遵守に基づく正確・迅速な審査・出納事務の遂行	②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 職員人材育成基本方針に基づく事業推進により、高い業務遂行意欲（挑戦と創造）と能力を備えた人材の育成及び各分野において、まちづくりの中心的役割を担う情報発信能力のある多様な人材の育成を図る仕組みができています。 (2) 効率的予算編成・執行、財務状況や運営コスト情報の公表等により健全な財政運営ができています。 (3) 適正な公文書の管理を行うとともに、市民に開かれた行政をする。 (4) 監視会計から経営会計へ。金融施策・金融動向を見極めた安全かつ効率的な運用を行う。 (5) 効率的な財政運営のための正確・迅速な会計事務の確立 【組織の目標像】 (1) 市民の夢の実現に向け、創造と改革に挑戦できる職場環境になっている。 (2) 経営感覚とプロ意識を持ち、自ら考えぬき、主体的に行動する職員の組織となっている。 (3) 部内・課内の職員が一体となって、公正かつ効率的行政サービスに対応できる組織となっている。 (4) 情報公開・個人情報保護に関する市民との対応において、職員が的確な対応、判断ができています。 (5) 住民の福祉向上の観点から必要とされる施策をいかに適法、合理的に制度化するか、適法、効果的に運用するかに関
-----------------------------	---	---------------	---

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

			する思考、実践ができています。 (6) 情報共有・意見交換・OJT研修で資質向上を目指す組織 (7) 庶務担当者の指導・育成とコンプライアンスの確立された組織	
平成24年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容				
③重点事項	④具体的な成果目標（めざそう値）	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況（年度中間）	⑧年度末の達成状況
人材育成 【総務課】	(1) 職員人材育成基本方針[改訂版]に基づく事業推進 (2) 本市主催の研修の実施 (3) 次世代育成支援特定事業主行動計画の実施	① 新規採用職員サポーター制度の実施 ② 職場復帰回復訓練の充実・分限制度の実施 ③ 本市独自の研修の充実 ④ 適切な人材配置	○ ① 新規採用職員にサポーターを配置し、育成計画を作成、同計画に基づく支援、助言を実施した。 ② 分限制度についての研究を継続実施中 ③ 新規採用職員や新任課長・課長代理への副市長講話、部長講話、メンタルヘルスを内容とした独自研修を実施 ④ 施策推進に関する対応、育児休暇等に伴う適切な人材配置を行った。	
人事評価制度の実施 【総務課】	(1) 人事評価の実施	① 全職員を対象に実施 ② 評価結果の活用手法の検討	○ ① 職務行動評価を勤務評価として本格施行、役割達成度評価を試行として実施中 ② 評価結果の活用については継続検討中	
職員の健康増進 【総務課】	(1) 病気休暇取得者数・病気休暇日数の抑制【前年比較】	① メンタルヘルス相談・研修 ② 定期健診等を踏まえた健康指導 ③ 体力測定事業の実施	○ ① 衛生管理者及び臨床心理士によるメンタル相談を実施。新任課長・課長代理に対するメンタルへ	

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

				ルス研修を実施 ② 定期健康診断時におけるストレスチェック及びその結果に基づく個別指導を実施。定期健診及び人間ドック受診者に対する生活習慣病予防を踏まえ個別に健康指導を実施 ③ 節目年齢対象者に対して体力測定事業を実施		
持続可能な財政構造の確立 【財政課】	(1) 財政運営プログラムの策定	① 取組内容の整理 ② 実行体制の担保 ③ フォローアップ及び予算編成等との連携	○	① 財政運営プログラム(案)の調製 ② 予算への反映手法の構築		
財産管理者制度 【財産活用推進課】	(1) 指定管理者制度の現行以上の理解と事務運営の円滑化	① 財務分析一括発注 ② 指定管理者の住民広報	○	① 財務分析1件 ② 市ホームページ2回掲載(4、7月)		
未利用土地・建物(分譲団地含む)処分 【財産活用推進課】	(1) 販売目標 5区画:2,000万円 (2) 未利用土地・建物 3,000万円 (年度末)	① 市HP・新聞・住宅情報誌記事掲載 ② 県宅地建物取引業協会との「購入者紹介に関する協定」に伴う斡旋依頼 ③ 市分譲団地販売対策連絡会議の開催 ④ 分譲価格の見直し	○	(1) 分譲団地 0区画 (2) 未利用土地・建物 2,412万円 ① 市HP(随時)・新聞(1回)・住宅情報誌(1回)に記事掲載 ② 4月4日、県宅地建物取引業協会へ「購入者紹介に関する協定」に伴う斡旋依頼 ③ 年内開催予定		

部 局 経 営 方 針

平成24年度

薩摩川内市

				④ 不動産鑑定評価依頼中		
公有財産（土地・建物）仕分け 【財産活用推進課】	(1) 仕分け対象財産の利用・処分の方針（案）決定 (2) 利用・処分の方針（案）公表・市民意見の集約	① 公有財産利活用検討委員会の開催 ② 利活用方針（案）ホームページ等公表・意見集約	○	① 公有財産利活用検討委員会7回開催 ② 翌年1月以降公表予定		
効率的な車両管理 【財産活用推進課】	(1) 稼働率：85%以上	① 公用車集中管理の実施	○	① 稼働率：84.3%		
庁舎の耐震補強 【財産活用推進課】	(1) 耐震補強されていない庁舎の耐震化	① 耐震補強設計業務の委託：本庁 ② 耐震補強計画業務の委託：5支所（樋脇・東郷・祁答院・里・下甕）	○	① 本庁耐震補強設計業務委託：10月末終了予定 ② 支所耐震補強計画業務委託：9月30日完了		
使用済核燃料税の更新協議 【税務課】	(1) 更新に向けた協議	① 関係課との調整（財政需要等） ② 電力事業者との協議・調整 ③ 総務省との調整	○	・ 市長・副市長及び関係課と協議を行い更新に向けた方針を確認 ・ 電力事業者との協議を年内に開始予定		
市税等の収納率向上と滞納処分の強化 【収納課】	(1) 前年度収納率実績以上を目標	① 電話・文書による早期催告 ② 納税相談（個別面接による実情把握、適正・公平な納税指導） ③ 滞納処分（差押・公売）	○	① 6月25日から実施。 9月末実施率76.9% ② 納税相談を随時実施 ③ 滞納処分 差押 不動産 18件 債権 29件		
会計事務の省力化 【会計課】	(1) 公共料金の口座引落とし（7月開始） (2) 基幹系システムと財務会計システムの連携及び課題解決	① 関係課への説明会 ② テスト稼働及び最終調整 ① システムの検証によるスクラップアンドビルドの構築	○ ○	・ テスト稼働を経て7月に本稼働した。 ① トラブル事象に対して、リアルタイムで主管課及び情報政策課とのシステム検証によるスクラップアンドビルドの構築		

部 局 経 営 方 針

平成 2 4 年度

薩摩川内市

				に努めており、トラブル発生も激減している。		
	(3) 正確・迅速な出納閉鎖体制の確立	① 関係課連携によるチェック体制の強化及び問題点の整理 ② 出納閉鎖事務のマニュアル化	○	① 関係課との会議・調整を密に行い、システムのトラブルがあったものの、概ね順調に出納閉鎖を完了できた。 ② 出納閉鎖事務のマニュアル化については、作成中である。		
経営会計 【会計課】	(1) 資金計画と資産運用	① 収支見込みの精度向上 ② 安全かつ効率的資金の運用	○	① 収支見込みの精度向上については、部課長会議及び公文書で醸成に努めている。 ② 安全かつ効率的な資金運用については、出納整理期間に、一時借入金をする事なく、資金繰りができた。また、利子の発生しない決済性預金を廃止し、より有利な大口定期預金への預け入れを促進している。		
⑦年度中間総括	7年後の市町村合併特例措置の期限切れを見通した財政運営プログラムやそれに付随する公有財産仕分け、人件費総額の縮減の方策検討に力を入れた上期であった。 - その他の重点事項についても、概ね計画どおりに進んでおり、引き続き目標達成に向けた取組を強化したい。					
⑨年度末総括						